

令和4年度事業報告書

社会福祉法人田子町社会福祉協議会

令和4年度 社会福祉法人田子町社会福祉協議会事業報告書

今年度も新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない状況が続くことで、従来の社協活動や地域住民による地域活動が引き続き制限されることとなりました。

一方で、コロナ禍が要因で一層顕在化してきた社会的孤立や経済的困窮と言った生活課題・福祉課題に対し、長らく地域福祉活動を実践してきた社会福祉協議会への期待も高く、ニューノーマル時代を見据えた対応も求められるようになってきています。

本会ではこのような状況に対し、昨年度に引き続きつながりを途切れさせないよう、職員常駐のサロンを継続実施したほか、今年度見直しの年度となった地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査において、町民のコロナ禍による生活の変化についても調査をしました。

また、感染症対策が当然の業務となった介護保険事業を始めとする福祉サービスにおいては、利用者を含む関係者から新型コロナウイルス感染症の陽性者が多数発生する事態となったことで経営面に大きく影響を与えることになりましたが、感染拡大を防ぐことを第一にしながら、可能な限り利用者のニーズに対応したサービスの提供に努めました。

1. 適正かつ能率的な運営と健全な経営の確保

(1) 理事会及び評議員会等の開催

理事会・監査会・評議員会並びに各委員会を開催し社協事業の円滑な運営に努めました。

また、定例的に正副会長会議を開くことで、介護保険事業並びに社協の事業についての情報の共有化を図り経営の健全化に努めました。

<理事会の開催 3回>

○第1回理事会

日時	令和4年6月10日(金) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	報告第1号 会長の職務執行状況について 議案第1号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第2号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について (監査報告) 議案第3号 令和3年度事業報告書の承認について 議案第4号 令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第5号 第三者委員の欠員補充について 議案第6号 田子町地域福祉活動計画策定委員の委嘱について 議案第7号 定時評議員会の開催について

○第2回理事会

日 時	令和4年12月5日(月) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	報告第2号 会長の職務執行状況について (監査報告) 議案第8号 令和4年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第9号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人田子町社会福祉協議会契約職員給与規程の一部改正について 議案第11号 評議員会の開催について

○第3回理事会

日 時	令和5年3月13日(月) 午後2時
場 所	田子診療所 会議室
案 件	報告第3号 会長の職務執行状況について 議案第12号 令和4年度一般会計補正予算(第4号)について 議案第13号 令和5年度事業計画について 議案第14号 令和5年度一般会計予算について 議案第15号 評議員会の開催について

<評議員会の開催3回>

○定時評議員会

日 時	令和4年6月27日(月) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	議案第1号 令和4年度一般会計補正予算(第1号)について (監査報告) 議案第2号 令和3年度事業報告書の承認について 議案第3号 令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認について

○第2回評議員会

日 時	令和4年12月15日(木) 午後2時
場 所	田子診療所 会議室
案 件	報告第1号 令和4年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分について (監査報告) 議案第4号 令和4年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第5号 理事の選任について

○第3回評議員会

日 時	令和5年3月23日(木) 午後2時
場 所	田子診療所 会議室
案 件	議案第6号 令和4年度一般会計補正予算(第4号)について 議案第7号 令和5年度事業計画について 議案第8号 令和5年度一般会計予算について

<監査会の開催 2回>

○第1回監査会

日 時	令和4年5月27日(金) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 和室
内 容	令和3年度法人運営並びに事業実施状況について 令和3年度会計処理状況について

○第2回監査会

日 時	令和4年11月22日(火) 午後1時30分
場 所	せせらぎの郷 和室
内 容	令和4年度上半期(4月~9月)会計処理状況について

<苦情処理委員会 1回>

日 時	令和4年10月11日(火) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	苦情解決の流れ及び第三者委員の役割について 令和3年5月から令和4年7月までの状況報告

<正副会長会議>

12回(4/28、5/31、6/30、7/29、8/31、9/30、10/31、11/30、12/27、1/31、2/28、3/28)

人事・事業運営並びに経営状況等について定例的な情報交換と協議を行い、本会の健全な経営に努めました。

(2)社協会費(自主財源)の確保

社協の自主財源である会費の確保について、町民各位並びに各事業所の理解と協力のもとに総額2,555,000円(介護・障害サービス収入を除く収入の2.9%)の実績をあげることができました。

<社協会費納入内訳>

会員区分		会費年額	会員数	会費額
世帯会員	普通会員	1,000円	1,319人 (-24人)	1,317,000円 (-25,500円)
	賛助会員	2,000円	404人 (-8人)	808,000円 (-16,000円)
	小計 ①		1,723人 (-32人)	2,125,000円 (-41,500円)
団体賛助会員②		1口 5,000円	33事業所 86口	430,000円 (±0円)
合計 ①+②				2,555,000円 (-41,500円)

※()内は前年度対比

(3) 補助金及び委託金の確保

公的財源の適正且つ安定的な確保をめざし、田子町や青森県社会福祉協議会等から助成金、補助金及び委託金の交付を受け事業を実施しました。

町や県社協等からの補助金並びに委託金の総額は、76,491,324 円(総収入の 43.4%)で、介護・障害サービス収入を除く収入の 86.0%となっています。

(4) 共同募金配分金

青森県共同募金会から地域福祉活動事業費として 1,210,000 円の配分金を受け、次のような事業を実施しました。

＜共同募金配分金による事業＞

事業名	配分額	備考
田子町社会福祉大会の開催	330,000 円	大会運営費
広報物の作成	280,000 円	社協だより 2,200 部×4 回
福祉協力校活動費	200,000 円	町内 4 校のボランティア活動費
心配ごと相談事業	75,000 円	弁護士等の専門相談費用
ほっとできる居場所づくり事業	135,000 円	ほのぼの・よりみちカフェの実施
災害時支援物品購入事業	100,000 円	簡易トイレ、防寒シート等の購入
子育て家庭支援事業	90,000 円	写真撮影会の実施
合 計	1,210,000 円	

(5) 寄付金及び基金の果実

町民各位の福祉に対する深い理解と協力により、寄付金並びに物品が寄せられました。

- ・寄付金 9 件 145,865 円
- ・寄付物品 15 件 91,935 円相当 (防犯用さすまた・パチンコ台・暖房器具等)

2. 介護保険事業の実施と福祉サービスの充実

(1) 介護保険事業の実施

ア. 居宅介護支援事業(田子町社協指定居宅介護支援事業所)

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、利用者本位のサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、利用者の自立支援に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により自宅訪問(モニタリング)が出来ずに電話連絡での対応となった月もありました。

介護支援専門員については、常勤専従管理者(主任介護支援専門員)1 名と常勤専従 2 名の 3 名体制で始動しましたが、11 月に管理者の退職により 2 名体制になり、さらに 1 月中旬から 1 名が休職する事態となり、事業所本来の業務も滞る状態になってしまいました。

利用件数は、計画作成延件数が 1,087 件(月平均 90.6 件)あり、その内新規契約件数は前年度より 13 件減の 21 件(月平均 1.8 件)となりました。

また、特別養護老人ホームへ入所するケースが 4 件(前年度比+2 件)、認知症対応型入所施設(グループホーム)入所が 6 件(前年度比-6 件)、事業所変更依頼が 5 件(前年度比-2 件)、他界された方が 25 件(前年度比+2 件)ありました。

事業所内の退職者による人員減少により、1 人当たりの件数が超過し、減算対象の月が発生した為、収入は前年度より 1,477,370 円の減収となっています。

次年度は介護支援専門員の増員による事業所基盤の安定化と、新規契約件数の取得を目指していきます。

＜居宅介護支援事業実施状況＞

新規契約件数	21件 (-13件)
計画作成延件数	1,087件 (-83件)
1月当たりの計画作成件数	90.6件 (-6.9件)
住宅改修支援件数	0件 (-2件)
福祉用具購入等支援件数	2件 (-8件)

※()内は前年度対比

＜月別居宅介護計画作成件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	95	97	94	96	97	88	
	(-9)	(-7)	(-6)	(-3)	(±0)	(-8)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	88	90	88	84	85	85	1,087
	(-13)	(-5)	(-6)	(-6)	(-9)	(-1)	(-83)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	3	3	3	3	3	2	
	(±0)	(±0)	(±0)	(±0)	(-1)	(-2)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2	2	2	1.5	1	1.2	26.7
	(-2)	(-2)	(-2)	(-2.5)	(-3)	(-2.8)	(-18.3)

※()内は前年度対比

＜月別介護支援専門員1人当たりの担当件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	31.7	32.3	31.3	32	32.3	44
	(-3)	(-2.4)	(-2)	(+7.5)	(+8.1)	(+20)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	44	45	44	56	85	70.8
	(+18.7)	(+21.6)	(+20.5)	(+33.5)	(+61.5)	(+46.8)

※()内は前年度対比

イ. 訪問介護事業(田子町社協指定訪問介護事業所)

柔軟なサービスを提供しようと年度初めに職員を1名増員しましたが、施設入所や入院となられる利用者が多く、在宅で看取られる方も少なかったことで訪問回数を増やすことができませんでした。

新規・再開利用者は15名と前年度より3名減となり、キャンセル数は新型コロナウイルス感染症の陽性や濃厚接触者になった理由等もあり、前年度より35回増えています。これにより事業活動収支差額は4,479,061円のマイナスになっています。

一方、障害者居宅介護事業では、利用者の自己都合等によるキャンセルが67回と前年度より34回増えています。普段は施設入所されている方の一時帰宅により身体介護の訪問が例年以上にあったため、前年度比で約64万円の増収となっています。

今後もケアマネジャーを中心とする関係機関等と連携しながら、利用者ができる限り在宅での

生活を安心して1日でも長く送れるようにサービスの提供に努めていきたいと思いをします。

なお、今年度は資格取得等貸付事業を活用した1名の職員が介護福祉士に合格しています。

<職員の配置状況>

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1人	0人	0人	1人	サービス提供責任者兼務 介護福祉士
サービス提供責任者	1人	0人	0人	1人	介護福祉士
訪問介護員	0人	2人	1人	3人	介護福祉士 1人 ヘルパー2級 2人
合計	2人	2人	1人	5人	

※R5.3.31 現在

<訪問介護事業実施状況>

区分	介護保険	介護予防	居宅介護(障害)	計
利用登録者	45人 (+6人)	6人 (-1人)	7人 (±0人)	58人 (+5人)
実利用者数	43人 (+5人)	6人 (-1人)	7人 (±0人)	56人 (+4人)
新規・再開利用者数	15人 (-3人)	0人 (-2人)	0人 (±0人)	15人 (-5人)
延訪問回数	2,711回 (-315回)	225回 (+111回)	551回 (+217回)	3,487回 (+13回)
サービス別訪問回数	身体介護	1,452回 (-633回)	178回 (+178回)	1,630回 (-455回)
	身体生活援助	1,258回 (+317回)		1,258回 (+317回)
	生活援助	1回 (+1回)	225回 (+111回)	373回 (+39回)
延活動時間数	2,043.3時間 (-93.3時間)	201.9時間 (-68.8時間)	440.3時間 (+117.8時間)	2,685.5時間 (-44.3時間)

※()内は前年度対比

<訪問介護事業月別キャンセル状況>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護・介護予防	11	8	6	5	22	11	5	9	9	17	4	4	111
居宅介護(障害)	1	4	18	14	12	4	3	3	1	5	1	1	67
計	12	12	24	19	34	15	8	12	10	22	5	5	178

単位:回

<訪問介護事業月別実施状況(介護・介護予防)>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	28	25	27	29	27	27	28	25	22	23	21	21	303
	6	6	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4	55
延訪問回数	302	201	215	215	236	241	252	216	189	212	208	224	2,711
	25	24	23	21	15	17	17	17	16	16	16	18	225
身体介護	199	102	108	120	122	123	132	119	88	112	102	125	1,452
身体生活	103	98	107	95	114	118	120	97	101	100	106	99	1,258
生活援助	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	25	24	23	21	15	17	17	17	16	16	16	18	225
延活動時間	207.6	150.8	167.2	176.3	186.1	182.2	191.4	167.3	144	154.5	156.8	159.2	2,043.3
	22.6	21.7	20.7	18.9	13.3	15.3	15.3	15.2	14.3	14.3	14.3	16.1	201.9

※実利用者数の計は年間の実利用者数 下段は介護予防

<居宅介護サービス月別実施状況(障害)>

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	6	7	7	7	7	7	6	6	7	6	7	7	80
訪問回数 (身体障害者)	4	34	32	30	34	35	4	4	12	4	11	12	216
訪問回数 (精神障害者)	23	25	31	30	33	29	27	30	28	29	24	26	335

ウ. 通所介護事業(田子町老人デイサービスセンター)

新型コロナウイルス感染者が町内でも多数発生している中、感染者を増やさないよう利用者や職員もできる限りの感染対策をしながら、サービスを続けてまいりました。

しかし今年度は、冬期間に利用者や職員からも陽性者が発生した影響もあり、利用者数が大きく落ち込み、前年度対比で8,307,654円の減収となりました。

障害者自立支援(障害者通所介護)では、昨年と同じ2名の方が継続利用しています。

事業所全体の実利用者数は、前年度比16名減の83名、延べ利用件数は前年度より965回減

となりました。1日当たりの稼働率(障害を含む)は前年度より7.9%減の45.2%、1日当たりの平均利用者数は、前年度より3.1名減の18.1名となりました。

＜通所介護事業実施状況＞

区分	介護保険	介護予防	障害者自立支援	計
実利用者数	74名 (-13名)	7名 (-3名)	2名 (±0名)	83名 (-16名)
延利用件数	5,276回 (-915回)	240回 (-53回)	148回 (+3回)	5,664回 (-965回)
1日当たりの平均利用者数	16.9名 (-2.9名)	0.8名 (-0.1名)	0.5名 (±0名)	18.1名 (-3.1名)
稼働日数				313日 (+1日)
年間稼働率				45.2% (-7.9%)

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜通所介護事業月別実施状況(介護・介護予防)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	64	66	63	60	54	59	56	53	49	45	45	45	81
延利用件数	534	518	533	496	505	492	476	436	396	357	369	404	5,516
延食事提供数	532	518	530	495	504	489	473	436	396	355	368	400	5,496
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	26	24	27	313
平均利用者数/日	20.5	19.9	20.5	19.1	18.7	18.9	18.3	16.8	14.7	13.7	15.4	15.0	17.6
稼働率(%)	51.3	49.8	51.3	47.7	46.8	47.3	45.8	41.9	36.7	34.3	38.4	37.4	44.1

※実利用者数の計及び稼働率の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数及び稼働率

＜通所介護事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	13	12	12	14	12	14	12	13	13	10	11	12	148
延食事提供数	13	12	12	14	12	14	12	13	13	10	11	12	148
延入浴介助件数	13	12	12	14	12	14	12	13	13	10	11	12	148

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

＜移動(送迎)支援事業月別実施状況(障害者自立支援)＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延利用件数	26	24	24	28	24	28	24	26	26	20	22	24	296
稼働日数	13	12	12	14	12	14	12	13	13	10	11	12	148

※実利用者数の計は月毎の計ではなく年間の実利用者数

<職員の配置状況>

業務別	正職員	嘱託	パート	計	資格等
管理者	1名	0名	0名	1名	社会福祉主事 介護福祉士 相談員兼務
生活相談員	2名	1名	0名	3名	介護福祉士2名 社会福祉主事1名 介護職員兼務
看護職員	4名	0名	0名	4名	機能訓練指導員兼務 看護師2名 准看護師2名
介護職員	0名	5名	1名	6名	介護福祉士4名 初任者研修1名 ヘルパー2級1名
調理員	0名	1名	3名	4名	調理師2名 配食サービス兼務
計	7名	7名	4名	18名	

※R5.3.31 現在

(2)在宅福祉サービスの充実

ア. 福祉有償運送事業(町補助事業)

公共交通機関の利用が困難で、歩行困難又は移動に介助を要する高齢者及び障害者を対象として、医療機関への送迎を中心に外出の利便を図り社会参加の支援に努めました。

今年度は入所や死亡による利用減が多く見られ、利用件数の減少に伴い利用料収入は前年度比で約15万円の減収となっています。

<福祉有償運送事業実施状況>

登録者数	121名 (-2名)
実利用者数	83名 (-2名)
稼働日数	211日 (-3日)
延利用件数	746件 (-78件)

※()内は前年度対比

<福祉有償運送事業月別実施状況>

稼働月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	17	17	19	18	19	16	19	19	19	18	15	15	211
実利用者数	30	32	33	28	27	23	26	27	23	18	19	22	83
延利用件数	81	78	75	66	66	55	63	74	51	43	43	51	746
町内	63	51	47	44	49	35	45	59	33	28	26	30	510
三戸・南部	12	15	19	9	11	14	11	8	12	5	14	13	143
八戸市	4	5	3	7	4	2	2	2	2	6	3	2	42
その他	2	7	6	6	2	4	5	5	4	4	0	6	51

※実利用者数の計は年間の実利用者数

イ. 配食サービス事業(町委託事業)

調理の困難な高齢者や障害者へ栄養バランスの取れた食事を提供し、安否確認と利用者の健康維持・増進に努めました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からマスクの常時着用、アルコール消毒液での手指及び回収した配食容器の消毒、利用者との接触をできるだけ短時間にとどめることを徹底しました。

今年度の利用者状況の内訳は、前年度からの継続33名、新規登録者11名(内再開1名)と

なり、登録者数は前年度比で減ったものの、安定した利用により食数は前年度比で 316 食の増と なっています。なお、年間利用者 44 名の内、年度途中で利用休止した方は 16 名となっており、そ の理由の内訳は、入院 6 名、自己都合 4 名、施設入所 2 名、町外転居 2 名、逝去 2 名となってい ます。

< 配食サービス事業実施状況 >

登録者数	44 名 (-13 名)
稼働日数	311 日 (±0 日)
延べ食数	5,483 食 (+316 食)
1 日当たりの平均食数	17.6 食 (+1.0 食)

※()内は前年度対比

< 配食サービス月別実施状況 >

提供月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311
実利用者数	33	30	28	31	33	32	31	30	31	28	30	31	57
延食数	492	527	504	487	499	488	457	414	394	379	409	433	5,483
平均食数/日	19.0	20.3	19.4	18.7	18.5	18.8	17.6	15.9	14.6	15.8	17.0	16.0	17.6

※実利用者数の計は年間の実利用者数 単位:日数~日、実利用者数~名、食数~食

ウ. 福祉機器貸与事業

在宅介護を支援するため、福祉用具を無料で貸し出し、日常生活の援助に努めました。

< 福祉機器貸出状況 >

福祉用具	車椅子	電動ベッド	ギャッチベッド	平ベッド	エアマット
保有台数	11 台(±0)	4 台(±0)	7 台(±0)	2 台(±0)	1 台(±0)
新規貸出数	7 台(+5)	0 台(±0)	1 台(±1)	0 台(±0)	0 台(±0)
返却数	6 台(+5)	0 台(±0)	0 台(±0)	0 台(±0)	0 台(±0)
貸出中の台数	4 台(-1)	2 台(±0)	7 台(+1)	2 台(±0)	0 台(±0)

※R5.3.31 現在 ()内は前年度比

3. 地域福祉の推進

(1) ほのぼのコミュニティ 21 推進事業(町委託事業)

住み慣れた地域で安心して暮らせる町づくりを目指して、地域住民同士の見守り活動の体制づく りを進め、自治会、民生委員児童委員とともに日常での見守り体制の構築や事業の活性化に努め ました。

今年度も引き続きコロナ禍のため、各地区の自治会総会での事業説明は限られましたが、感染防 止対策をしたうえで研修会を開催しました。内容としては、サロン活動や相続など、住民が興味を引く テーマとし、併せて何度も見守り活動について説明をすることでその重要性を PR しました。

また、高齢者の安否確認に期待できるふれあい・いきいきサロンは、サロンリーダーの方々には新型 コロナウイルス感染症への正しい知識も身に付いてきたことで、少しずつではありますが開催地区、 回数、参加人数とも増え始めてきました。

今後もふれあい・いきいきサロンで活かせるお互いの見守りを広めながら、ほのぼの協力員をは じめ住民各自が役割を生かせるよう、田子町地域見守りネットワークと連携した要支援者の実態把 握が課題となります。

＜ほのぼの交流事業活動状況＞

協力員グループ数	79 グループ (+14 グループ)
協力員総数	136 名 (-5 名)
対象世帯総数	113 世帯 (-7 世帯)
情報交換会・事業説明・打合せ	0 地区延 0 回 (±0 地区 延±0 回)
処遇困難ケース検討会	1 地区延 4 回 (-1 地区 延±0 回)
ふれあい交流会	0 地区 0 回 (±0 地区 延±0 回)
ふれあいいいききサロン登録数	34 グループ (±0 グループ)
ふれあいいいききサロン	8 地区延 19 回 (+3 地区 延+13 回)
ふれあいいいききサロン参加者数	延 335 名 (+217 名)
ほのぼの協力員関係合同研修会	4 回 (+2 回)

※()内は前年度対比

＜令和 4 年度ほのぼの協力員・サロンリーダー・よりみちカフェ参加者合同研修会＞

日時	令和 4 年 12 月 9 日(金) 午後 1 時 30 分～午後 3 時
場所	せせらぎの郷 会議室
内容	演題 「サロンでも使える いすに座ってできる軽い運動ストレッチ」 講師 学校法人臨研学舎 東北メディカル学院 理学療法学科 主任 桜田由紀子 氏 ※令和 4 年度三戸郡見守りネットワーク研修会併催

＜令和 4 年度ほのぼの協力員・福祉安心電話協力員合同研修会＞

日時	令和 5 年 2 月 22 日(水) 午前 10 時～午後 12 時 30 分
場所	田子町中央公民館 ホール
内容	演題 明治安田生命 MY 定期講座 公民館から広げよう！つなげよう！ 「わたしと家族の『そうぞく』講座」 講師 明治安田生命保険相互会社八戸支社十和田営業所 教育・育成課長 木村孝範 氏

＜ふれあいいいききサロン開催状況＞

サロン名	行政区	実施回数	延参加者数(名)
七日市ほのぼのサロン	七日市	1	58
にしたてのふれあいサロン	西館野	3	60
野月ふれあいサロン	野月	3	32
宮野ふれあいサロン	宮野	3	38
細野ふれあいサロン	細野	2	33
明土平ふれあいサロン	明土平	3	25
石亀地区サロン	石亀	3	83
嘉沢にこにこ会	嘉沢	1	6
計	8 地区(+5 地区)	19 回(+13 回)	335 名(+217 名)

※()内は前年度対比

(2) 心配ごと相談事業

民生委員4名を相談員として委嘱し、毎月第3火曜日に相談所を開設し町民の心配ごとや困りごとの解決に努めました。

相談にあたっては相談者の利便性やプライバシーを考慮し、事前の予約で相談者の希望する場所に出向いて相談を受けることもできる体制を取り、ケーブルテレビや社協だより、ホームページを活用して事業のPRの強化を図りました。

また、定期の相談日以外に専門的知識を要する問題の解決のため、弁護士を相談員とする「専門相談日」を年間3回設けている他、日常の相談については随時事務局で対応しました。

<相談事業実績状況>

年間開設日数	15日(±0日) ※専門相談日3日を含む
相談実日数	61日(-16日)
延相談利用者数	86名(+4名)
実相談内容件数	69件(+18件 ※再来46件)
延面接所要時間	2,125分(-480分)
1件あたりの所要時間	24.7分(-7.1分)

※()内は前年度対比

<相談内容別処理状況>

相談内容	件数	解決	再来	他機関	支援中/ 未解決
生計に関すること	27	0	25	0	2
家族に関すること	3	0	3	0	1
人権・法律に関すること	9	7	2	0	0
財産に関すること	6	5	0	0	1
障害者・児福祉	24	0	24	0	2
老人福祉に関すること	17	8	17	0	2
その他	25	25	0	0	0
合計	111	45	71	0	8

※複数の項目に該当するものについては各件数に集計されるため、実相談内容件数と差異あり

<専門相談実施状況>

専門相談開催日	弁護士氏名	相談者数
令和4年7月27日	弁護士法人たいよう総合法律事務所 源新明弁護士	2名
令和4年11月30日	顔都風法律事務所 橋本薫弁護士	3名
令和5年2月1日	みらい法律事務所 須永道夫弁護士	4名

<心配ごと相談員並びに運営委員合同会議>

日時	令和5年3月15日(水) 午後2時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	令和4年度心配ごと相談状況報告について 令和5年度心配ごと相談事業の運営について 心配ごと相談所運営委員の選任について

(3) 福祉安心電話事業(緊急通報システム)

単身の高齢者や高齢者のみの世帯・身体障害者世帯などを対象に、地域の社会資源を有効に活用するとともに近隣の住民はもとより地域の関係機関・団体とのネットワーク化を図りながら、電話を媒体とした「緊急通報システム」を形成して、対象者の緊急時の対応と日常の安心感を得

るよう努めました。

また、安心電話協力員研修会をほのぼの協力員との合同で開催し、本事業について理解を深めて頂きました。

なお、例年実施していた利用者及び協力員の交流会は、コロナ禍により昨年度に引き続き中止としています。

<福祉安心電話設置状況>

新規入会件数	2件 (-1件)
退会件数	5件 (+3件)
設置世帯総件数	28件 (-6台)
協力員数	81名 (-17名)

※()内は前年度対比

<相談・緊急通報状況>

緊急	11件 (+9件)
相談	11件 (+9件)
連絡(お元気コール含む)	66件 (-42件)
誤報	0件 (-8件)
停電	33件 (+12件)
その他(機器試験等)	6件 (-1件)
計	127件 (-12件)

※()内は前年度対比

(4)会食交流事業(寄りあいっこ)

65才以上の高齢者を対象に、外出と集いの場を提供し、閉じこもり予防や仲間づくりの支援を図るとともに、様々な活動を通して、生きがいの高揚、身体的・精神的機能低下の予防にも努めました。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底し、参加人数を18名から24名までを定員とした上で町内会場での手作りイベントをメインに運動会や体操、クイズ回などを開催しました。

また、町内及び近隣町村での感染症等の状況に留意しつつ、町外へのバス遠足も再開し、今年度は全7回の開催となりました。

<会食交流事業実施状況>

開催回数	7回 (+2回)
登録者数	95名 (-16名)
登録世帯数	91世帯 (-14世帯)
延参加者数	104名 (+42名)

※()内は前年度対比 ※ボランティア除く

＜会食交流事業実施状況＞

開催月	参加者数	主な場所	主な内容
5月	9名	老人福祉センター	脳トレクイズ&ちょっと体操
6月	20名	南部町	さくらんぼ狩り(バス遠足)
7月			中止
8月			中止
9月	14名	老人福祉センター	十五夜のランプシェードづくり
10月	13名	老人福祉センター	保健師さんの健康小話&秋のプチ運動会
11月			中止
12月	9名	老人福祉センター	彩り鮮やか 連扇のお正月飾りづくり
1月	16名	老人福祉センター	童心に帰る節分レク 鬼のパンツ体操と豆まき
2月			3月開催のためお休み
3月	23名	十和田市	十和田を満喫♪現代美術館&お買い物(バス遠足)
合計	104名		

(5) 高齢者生活福祉センター事業(町委託事業)

高齢や障害等のため居宅において生活することに不安のある方に対し、介護支援機能、緊急時支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者等が安心して生活を送れるよう支援しました。夜間及び休日等の緊急時は、「老健たっこ」と連携し対応しました。

＜高齢者生活福祉センター利用状況＞

実利用世帯	9世帯 (+1世帯)
・単身	9世帯 (+1世帯)
・夫婦	0世帯 (±0世帯)
延利用者数	33世帯 33人 (-2世帯 -2人)

※()内は前年度対比

＜高齢者生活福祉センター月別利用状況＞

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	6	2	1	1	1	0	0	0	5	5	6	6	9人
延利用日数	150	52	30	31	16	0	0	0	148	155	168	186	936日

※実利用者数の計は年間の実利用者数

(6) 低所得世帯の援助

ア. 生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

低所得世帯に対して、民生委員や三戸地域自立相談窓口(NPO 法人ワーカーズコープ)との連携のもとに各種資金の相談・償還指導を行ない世帯の自立援助に努めました。一方、近年の社会経済の低迷と償還に対する認識が低い借受人及び連帯保証人もあり、長期滞納者の増加に伴い償還指導は年々困難になっています。しかし、本制度の趣旨に鑑み、貸付の必要な世帯が適切に利用できるよう制度のPRと貸付の相談や償還指導による世帯の自立更生の支援の強化が必要となっています。

＜年度末貸付総件数＞

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
教育支援資金	6 件	1,113,700 円	821,980 円
更生資金	1 件	700,000 円	103,000 円
福祉資金	1 件	2,050,000 円	924,980 円
特例緊急小口資金	4 件	600,000 円	600,000 円
特例総合支援資金	2 件	1,200,000 円	1,200,000 円
計	14 件	5,663,700 円	3,649,960 円

※R5.3.31 現在償還中を含む

＜生活福祉資金貸付調査委員会＞

日 時	令和 5 年 3 月 15 日(水) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	生活福祉資金貸付及び償還状況について

イ. たすけあい資金貸付事業

わずかな出費で生活が脅かされるような低所得者に対して「生活資金」の貸付を行い安定した生活が送れるように援助しました。しかし、長期滞納者が多くなっており、世帯状況の調査と合わせて償還に対する意識づけを促しながら世帯の自立につながるような支援が必要となっています。

＜年度末新規貸付状況＞

資金の種類	件 数	金 額
生活資金	0 件	0 円

＜年度末貸付総件数＞

資金の種類	貸付件数	貸付額	元金残金
生活資金	9 件	330,000 円	204,000 円

ウ. 生活困窮者自立相談支援事業への協力

生活困窮者等の自立支援に向けて、三戸地域自立相談窓口と連携し、対象となる世帯等の情報提供や同行訪問、会議への出席など、相談者の自立支援・協力を行いました。

＜相談支援の状況＞

進捗状況報告会	9 回
進捗報告会及び支援調整会議	1 回

エ. フードバンク事業

個人や団体等から寄付された食品を、自立支援を目的に生活に困窮する世帯へ提供しました。

＜提供状況＞

提供世帯数	5 世帯(±0 世帯)
提供回数	5 回(±0 回)

※()内は前年度対比

(7) 老人福祉センター管理事業(指定管理者制度)

パート職員を3名配置し、利用者の見守りや施設の維持・管理業務を行いました。

また、ボランティアの方にご協力いただき毎月映画を上映したり、利用者のご協力のもと施設周辺の草刈りをしたりするなど、住民の方々のご支援のもと施設運営を行いました。

今年度も入口での検温と手指のアルコール消毒の実施、館内マスク着用の徹底の声かけを継続することで、新型コロナウイルスをはじめとした感染症拡大を防ぎ、高齢者の健康保持、福祉の増進に努めました。

<老人福祉センター利用状況>

開所日数	245日 (+ 3日)
延利用者数	10,070名 (- 198名)
平均利用者数/日	40.3名 (- 1.3名)

※()内は前年度対比

(8) 在宅介護者の支援

在宅で高齢者や障害者の介護をされている方々の心身のリフレッシュを目的に日帰り旅行を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しています。

日 時	中止
-----	----

(9) 地域福祉活動計画の策定

地域の福祉課題の解決に向けた住民主体を基本とした取り組みの行動計画である「第4次田子町地域福祉活動計画」の策定を行いました。

計画の策定にあたり、町民に対して「福祉に関する意識調査」を実施した他、各方面の委員からなる地域福祉活動計画策定委員会を設置することで、多くの方々からの意見・提言・協力を得ながら策定作業を進めることができました。

<福祉に関する意識調査>

調査対象者	田子町民 149名(令和4年8月の住民台帳から無作為に抽出)
調査方法	郵送及びインターネットによる回答
調査期間	令和4年9月9日～令和4年9月22日
回収結果	有効回答数 70件(回収率 46.97%)

<第4次田子町地域福祉活動計画策定委員会 4回>

○第1回策定委員会

日 時	令和4年7月4日(月) 午後2時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	委嘱状の交付 委員長、副委員長の互選 作業部会の設置について 研修会「地域福祉活動計画とは」 講師 青森県社会福祉協議会 地域福祉課 課長代理心得 木村亨氏

○正副委員長会議

日 時	令和 4 年 9 月 5 日(月) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	福祉に関する意識調査の内容について

○第 2 回策定委員会

日 時	令和 4 年 10 月 17 日(月) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	現状及び課題の把握について 素案について

○第 3 回策定委員会

日 時	令和 5 年 2 月 3 日(月) 午後 2 時
場 所	田子町中央公民館 研修室
案 件	素案について

○第 4 回策定委員会

日 時	令和 5 年 3 月 1 日(水) 午後 2 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	素案について

<第 4 次田子町地域福祉活動計画策定委員会作業部会 5 回>

○第 1 回作業部会

日 時	令和 4 年 8 月 8 日(月) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 和室
案 件	委嘱状の交付 部会長、副部会長の互選 地域福祉活動計画について

○第 2 回作業部会

日 時	令和 4 年 10 月 5 日(水) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	現状及び課題の把握 素案について

○第 3 回作業部会

日 時	令和 4 年 12 月 20 日(火) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 和室
案 件	素案について

○第 4 回作業部会

日 時	令和 5 年 1 月 23 日(月) 午後 3 時
場 所	せせらぎの郷 会議室
案 件	素案について

○第5回作業部会

日時	令和5年2月13日(月)午後3時
場所	せせらぎの郷 会議室
案件	素案について

(10)ほっとできる居場所づくり事業

昨年度に引き続き、サンモールにぎわい広場を拠点に、「ほのぼの・よりみちカフェ」を継続実施し、町民が自由に出入り可能な居場所を設けることでコロナ禍での生きがいづくりに努めました。

また、コロナ禍により思うように外出・思い出作りができないことを想定し、未就学児がいる子育て世帯を対象とした「写真撮影会」を田子町写友会の協力のもと実施し、その場で写真を印刷して配布やデータの提供を行いました。

○ほのぼの・よりみちカフェ

開催期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日 祝日を除く木曜日実施(感染状況により一部の期間休止あり) 計33回(+4回)
場所	サンモールにぎわい広場
特徴及び内容	・開催時間内(午前10時～午後2時)であればどなたでも出入り自由 ・お茶の無料提供 ・脳トレ、手芸、軽体操、お楽しみ勉強会(2回)、交流等生きがいづくりと介護予防
参加者	延参加者480名(+69名、1回当たり14.5名(+0.3名)、1名当たり利用時間63.1分(-2.7分)

○写真撮影会

開催期間	令和5年2月19日(日)
場所	Takko Visitor Center みろく館
特徴及び内容	・写真の撮影および写真の印刷、データ提供 ・フォトフレーム及びお菓子のプレゼント
参加者	11組

(11)相談援助技術実習(社会福祉士)の受入れ

社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を受入れ、現場実習を通してソーシャルワーカーとして必要な知識や技術を習得できるよう努めました。

○岩手県立大学 1人 令和4年8月22日～令和4年9月22日

(12)あっぷるハート(日常生活自立支援事業)の支援・協力

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社協である八戸市社会福祉協議会との連携により、利用者との契約に基づいた福祉サービスの利用援助の支援・協力をしました。

相談件数	3件(±0件)
新規契約件数	0件(±0件)
解約件数	1件(+1件)
契約支援件数	1件(-2件)
支援回数	22回(-7回)※
生活支援員	2名(±0名)

※事前訪問、相談訪問含む

4.福祉教育・ボランティア活動の推進と情報提供

(1) ボランティアの育成

ともに支えあい、ともに築く福祉の町づくりをめざし、地域住民の参加による福祉活動を推進するため、各種ボランティアの育成に努めました。しかし、福祉ボランティアだけでなく、住民が多様なボランティア活動に参加できるような体制が十分に整っていないため、今後は、町や社会教育の分野をはじめとする関係機関と連携しボランティアセンター（機能）を構築していく必要があります。

< ボランティア登録状況 >

社協事業登録ボランティア	個人 304 名 (ほのぼの協力員、福祉安心電話協力員、福祉協力員)
寄りあいっこボランティア	個人 2 名 (±0 名)
その他のボランティア	1 団体 29 名 (±0 団体 ±0 名)

(2) 児童生徒のボランティア活動推進事業

社会福祉への関心や理解を深めるとともに地域での具体的な体験活動を通して思いやりや相互の助け合いの心を育むよう、町内の学校(小学校 3 校、中学校 1 校)を福祉協力校として指定し、助成申請のあった福祉協力校に対し、活動費として1校当たり5万円を助成することで、各学校の福祉活動の金銭的支援をおこないました。

また、各学校の担当教員を参集する連絡会議を今年度は書面にて実施し、福祉教育の周知をしました。

< 福祉協力校連絡会議 >

日 時	書面配布にて実施
場 所	
案 件	福祉教育メニューについての説明

< 福祉協力校活動支援内容 >

令和 5 年 2 月 10 日	田子小学校	5 年生を対象に手話体験教室を実施
-----------------	-------	-------------------

(3) 啓発宣伝事業

ア. 第 56 回田子町社会福祉大会の開催

例年、町民の福祉意識の高揚と地域福祉の推進を図るために全町民を対象に開催している本大会ですが、コロナ禍により人を集めての開催が困難と判断し、被表彰者のみを対象とした式典を開催しました。

< 第 56 回田子町社会福祉大会 >

日 時	令和 4 年 11 月 25 日(金)午前 10 時 30 分
場 所	田子町中央公民館
内 容	大会式典(受賞者 10 名、感謝 1 名)

イ. 広報活動

「社協だより」を 4 回(1 回 2,200 部)発行し、ケーブルテレビの活用により社協事業及び福祉活動の啓発宣伝に努めました。

また、ホームページにおいても、社協の事業やイベント等様々な情報を随時発信しました。

(4) 福祉協力員の配置

各行政区に福祉協力員(54 名)を配置し、地域での情報収集や会費の集金、事業関連のチラ

シ配布など、コロナ禍においても本会と地域とのパイプ役として多大な協力をいただきました。

また、本会事業に対する理解を深めるための研修会を新型コロナウイルス感染症対策として、2回に分けて開催しました。

＜令和4年度福祉協力員委嘱状交付及び福祉協力員研修会＞

日時・場所	令和4年7月13日(水) 午前10時30分 田子町中央公民館 ホール " 午後2時 "
研修内容	ほのぼのコミュニティ21 推進事業について 福祉協力員の役割について 社協会費の集金方法について(社協会費納入書の配布) 赤い羽根共同募金活動について

5. 共同募金運動の実施

田子町共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を実施し、町民各位をはじめ関係機関の協力により次のような実績を収めることができました。

また、青森県共同募金会との連携によりご当地ピンバッジを作成しました。ピンバッジ募金は社協事務所窓口や老人福祉センター、学童保育すくすく館、Takko Visitor Center みろく館で実施した他、田子町ガーリックセンターにガチャガチャを設置していただき、地域福祉活動の醸成に努めました。

＜赤い羽根共同募金実績＞

赤い羽根共同募金総額	1,403,261 円
戸別募金(1,728 世帯)	1,209,800 円
職域募金(15 件)	15,337 円
学校募金(6 校)	14,278 円
ピンバッジ募金	163,846 円

6. 田子町学童保育事業・子育てサロンの実施

(1) 田子町学童保育事業の実施(指定管理・町委託事業)

田子町の指定管理者として「すくすく館」の建物管理と、委託事業として「すくすく館田子分館」・「すくすく館上郷分館」、合わせて3ヶ所の学童保育事業に取り組みました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で予断ならない状況が続く中、予防対策として設備・物品等の消毒、職員・児童をはじめとした検温や手洗いうがい、マスク着用の徹底を心掛けたほか、保護者からもご協力いただき、児童の安全のため一体となって予防に努めました。

田子分館では、7月に2日間の臨時休館がありましたが、すくすく館では数名の感染者がでたものの臨時休館等することなく事業を実施しました。

平時とは違う状況の中であっても児童ができることとして、バス停の清掃や敷地内の雪かき、周辺のごみや枝拾いを通すことで、ふるさとへの思いの醸成や地域貢献の経験を積めるよう努めました。

この他、適切な事業運営のため、町の担当課より毎月職員会議へ出席いただき、必要の都度、状況報告・相談を行い、必要な指導や助言をいただきました。また、各小学校とは定期的又は随時、児童の様子や学童での困りごと、感染症等の状況について情報交換等を行い適切な学童の運営に努めました。

今年度も清水頭小学校の利用児童については平日の小学校下校時に送迎を行い、学童保育

利用における地域格差の解消に努めました。

また、今年度より、保護者との連絡方法として学童保育の LINE 公式アカウントを導入し、緊急時の連絡や児童の様子などを配信したほか、保護者に向けたアンケートを昨年度に引き続き実施し、LINE も活用することで回収率を上げ、今後の運営改善に役立てました。

上郷小学校と清水頭小学校の閉校に伴い、「すくすく館上郷分館」は、9年間の活動を終わりました。次年度は、すくすく館と田子分館の2館体制となりますが、各館に必置の放課後児童支援員（研修修了者）が必要となっています。今年度1名が放課後児童支援員の研修を修了しましたが、今後も計画的に支援員の養成を図ることが必要となっています。

＜学童保育実施状況＞

項目		すくすく館	すくすく館田子分館	すくすく館上郷分館
定員数		70名	20名	20名
開設時間	月～金曜日	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分	下校時～ 午後6時40分
	土曜日・長期休み 及び学校休業日	午前7時15分～ 午後6時40分	午前7時15分～ 午後6時40分	午前8時～ 午後6時40分

＜開設日数・登録児童数＞

施設	年間開設日数（単位：日）					登録児童数（単位：人）		
	平日	土曜	振替	長期	計	区分	年度当初	年度末
本館	192	38	6	51	287	通常	48	42
						長期	8	4
						一時	1	4
						計	57	50
田子分館	192	22	3	48	265	通常	18	16
						長期	0	0
						一時	0	2
						計	18	18
上郷分館	193	31	5	50	279	通常	9	9
						長期	0	0
						一時	0	0
						計	9	9
計	577	91	14	149	831	通常	75	67
						長期	8	4
						一時	1	6
						計	84	77

＜月別開設日数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	25	22	26	25	24	23	24	24	24	23	22	25	287
田子分館	21	21	24	23	23	20	24	22	22	21	20	24	265
上郷分館	25	22	25	24	23	23	24	23	24	23	21	22	279
計	71	65	75	72	70	66	72	69	70	67	63	71	831

(単位:日)

＜延利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	690	531	689	620	558	590	515	562	581	500	531	514	6,881
田子分館	312	305	371	264	233	288	268	265	274	215	272	260	3,327
上郷分館	169	157	172	179	176	154	175	152	170	158	151	177	1,990
計	1,171	993	1,232	1,063	967	1,032	958	979	1,025	873	954	951	12,198

(単位:人)

＜一日当たりの利用児童数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	27.6	24.1	26.5	24.8	23.3	25.7	21.5	23.4	24.2	21.7	24.1	20.6
田子分館	14.9	14.5	15.5	11.5	10.1	14.4	11.2	12.0	12.5	10.2	13.6	10.8
上郷分館	6.8	7.1	6.9	7.5	7.7	6.7	7.3	6.6	7.1	6.9	7.2	8.0
計	49.3	45.7	48.9	43.8	41.1	46.8	40.0	42.0	43.8	38.8	44.9	39.4

(単位:人)

＜延支援員配置数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	101	90	102	109	108	110	96	79	89	90	91	126	1,191
田子分館	51	42	47	45	53	52	45	45	46	52	48	77	603
上郷分館	31	41	49	55	56	49	53	48	55	55	47	51	590
計	183	173	198	209	217	211	194	172	190	197	186	254	2,384

(単位:人)

＜一日当たりの支援員配置状況＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	4.0	4.1	3.9	4.4	4.5	4.8	4.0	3.3	3.7	3.9	4.1	5.0
田子分館	2.4	2.0	2.0	2.0	2.3	2.6	1.9	2.0	2.1	2.5	2.4	3.2
上郷分館	1.2	1.9	2.0	2.3	2.4	2.1	2.2	2.1	2.3	2.4	2.2	2.3
計	7.6	8.0	7.9	8.7	9.2	9.5	8.1	7.4	8.1	8.8	8.7	10.5

(単位:人)

＜学童保育利用者アンケート調査＞

調査対象者	令和4年度登録56世帯(脱退・利用なしの世帯を除く)
調査期間	令和5年1月30日～2月13日
調査内容	コロナ禍における満足度調査
回収結果	有効回答数38件(インターネット33件、用紙5件) 回収率67.8%

(2)子育てサロンの実施

学童保育施設「すくすく館」を開放し、子育て中の保護者や乳幼児、子育てに関わっている方などを対象に、「気軽に出かけてほっとできる場所」を提供し、子育て支援の一環として、子育てサロンを実施しました。

町の乳幼児検診時や社協のホームページへの掲載等を行い、事業のPRをしながら利用登録に努めました。今年度も新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、毎週火曜日と木曜日に予約制で1日当たりの利用世帯数の制限をなくして場所の開放を実施しましたが、通常の利用にはつながらず、行事(クリスマス会)への参加のみとなりました。

場所の開放のほか、定期的に「子育て通信」を配布し、子育てに役立つ情報を提供することで子育て支援に努めました。

今後は、感染症予防に配慮しながら、事業のPRと集える場所の提供のほか、行事型のサロンの実施など気軽に集まれるサロンの実施が課題となっています。

＜子育てサロン実施状況＞

開催日時	毎週火曜日・木曜日 午前10時～正午
開催場所	すくすく館
実施日数	56日
登録世帯数	4世帯(親4人 子ども6人)
延利用世帯数	2世帯5名(親2人 子3人)

＜子育てサロン実施状況＞

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録世帯	-	0	2	2	-	2	3	3	3	3	4	4	4世帯
開設日数	-	4	8	4	-	8	5	7	8	3	7	5	59日
利用世帯数	-	0	0	0	-	0	0	0	2	0	0	0	2世帯
延利用者数 (うち子供の数)	-	0	0	0	-	0	0	0	5	0	0	0	4名
	-	0	0	0	-	0	0	0	3	0	0	0	2名

7. 福祉団体の育成

当事者や家族の会である4つの福祉団体の事務局を担当し、各種会議や研修会の開催、スポーツの振興など県や郡の関係機関と連携しながら会の指導育成に努めました。

○田子町老人クラブ連合会

○田子町身体障害者福祉会

○田子町手をつなぐ育成会

○田子町共同募金委員会